

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価
細 施 策	①共生意識を醸成するための相互理解の推進			文化スポーツ部 国際文化交流課	A
施策の内容	外国籍市民と日本人市民は、同じ地域社会を構成する一員として、共生していくという意識を持つことが大切であり、異なる文化を理解し、相互に尊重し、相互に助け合うことができるよう、具体的な交流や国際理解教育を進めて共生意識を醸成していきます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広報川越の内容を抜粋し、月1回英語版広報川越を発行しました。 ・外国籍市民会議を開催し、市長へ報告を行いました。 ・国際理解講座(1講座)を開講しました。 ・外国籍市民相談として、生活相談(中国語及びポルトガル語)を月各2回、法律相談、行政書士相談を月各1回実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	英語版広報川越の発行(回)	12	12	12	
	外国籍市民会議の開催(回)	6	6	6	
評価の理由	月1回の英語版広報川越の発行、外国籍市民会議の開催、外国籍市民相談などを定期的に行っており、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も共生意識を醸成するような事業を定期的に行うとともに、外国籍市民相談と法テラスとの連携を検討してまいります。				

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価					
細 施 策	②留学生の支援			文化スポーツ部 国際文化交流課	B					
施策の内容	国際交流センター受付業務の提供、インターンシップ制度の普及、一般市民との触れ合いを通じての相互理解の場などを提供し、留学生を支援します。									
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流センター受付業務を留学生(東京国際大学・尚美学園大学)に依頼しています。 ・国際交流センターにインターネットコーナーを設置し、留学生の情報収集に活用されています。 ・外国籍市民会議の委員として留学生に参加してもらいました。 									
指標及び説明	【指標】 国際交流センター利用人数			【説明】 国際交流センターの開館日1日あたりの利用者数						
	指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)		
H22				H23	H24	H25	H26		H27	
		人	84	73	68	64	56	55	57	120
評価の理由	留学生に対する支援として、国際交流センターの受付業務に関わる人数、外国籍市民会議委員への留学生の参加数など、おおむね順調に進ちよくしています。									
改善の方策等	留学生のインターンシップ制度や、卒業後に市内での就労を希望する留学生が市内企業に就職できるような取組を検討してまいります。									

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(1) 行政の国際化			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 共生意識を醸成するための相互理解の推進	国際文化交流課	A	A	A
	② 留学生の支援	国際文化交流課	B		
学識経験者等 意見等	外国籍市民相談については、対応言語と回数を増やす方向で検討していただきたい。また、広報紙についても、色々な言語に対応できるようになるとよいと思う。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	①人材の開発と育成			文化スポーツ部 国際文化交流課	A
施策の内容	海外勤務経験者、帰国子女、教員、外国籍市民などさまざまな経歴を有する優れた人材を発掘し、地域の国際化の担い手として育成します。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導員養成講座を従来の数年に渡るカリキュラムから1年4期のプログラムに見直し、外国籍市民に日本語を教えられる人材の育成に努めました。 川越市外国籍市民国際人材ネットを募集しました。 日本語講座「クラスで日本語」において、外国籍市民のための日本語教室を毎週3日(月・金・土)、午前、午後、夜間に開催しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	日本語指導員養成講座参加者数(人)	358(2講座)	412(3講座)	1083(4講座)	
	川越市外国籍市民国際人材ネット年度末登録者数(人)	35	39	38	
評価の理由	日本語指導員養成講座が年度内で完結するカリキュラムになり、参加者数は増加となりました。また、講座を修了された方の中には、外国籍市民のための日本語教室に参加する方もおりました。一方、外国籍市民国際人材ネットの登録者につきましては3年に1度の継続確認をした結果、若干減となりましたが、小中学校や公民館での講師活動等は、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	外国籍市民国際人材ネットについては、引き続き登録者や活用方法について、積極的にPRを行ってまいります。また、日本語指導助手など海外で活動された方等の活用を検討してまいります。				

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	②NGOなどとの協力と連携			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	国際交流や国際協力に取り組む市民団体、外国籍市民を支援する市民団体等と連携・協力し、地域の国際化を推進していきます。				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民を支援する市民団体等が行う、国際貢献事業に対する補助金の交付を行いました。 市民団体が主催する日本語教室等を毎週12講座、中国語教室を年間36講座を連携して実施しました。 市民団体が主催する「かわごえ国際交流フェスタ」を連携して実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	国際貢献事業補助金(件)	4	3	4	
	市民団体と連携した講座等の延べ参加者数	5,911	6,460	6,742	
評価の理由	国際貢献事業補助金、市民団体と連携した講座等の延べ参加者数は前年度より増加しており、ともにおおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	本補助金制度を広く周知し、国際貢献事業が多く実施されるよう、市民団体等を支援してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の国際化推進体制の整備			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	地域の活動を効果的に展開するために、市民や市民国際交流団体が中心となる機関を設置し、社会的に認知されるまでの間、行政が支援していきます。				
平成27年度実績	国際貢献事業補助金を申請する団体や窓口に来られた団体から、活動内容についての話を伺うなど、川越市内の市民の国際交流団体の状況把握に努めました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	国際貢献事業補助金利用団体数	4	3	4	
評価の理由	国際貢献事業補助金は申請に至らないケースであっても、相談を受けるなかで国際交流団体の活動内容について把握するなど、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後、川越市内で活動している地域の国際交流団体の把握に努め、他市の状況についても調査・研究し、市民活動による地域の国際化が推進されるよう検討してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2) 国際感覚に優れた市民の育成				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①人材の開発と育成	国際文化交流課	A	B	
	②NGOなどとの協力と連携	国際文化交流課	B		
③地域の国際化推進体制の整備	国際文化交流課	B			
学識経験者等意見	市民団体と連携した講座等の延べ参加者数は増えているが、今後も市民のニーズに応えた多様な言語に対応した講座等の開催に努めていただきたい。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実							担当課	担当課評価
細 施 策	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化							文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流を一層発展させるため、川越市姉妹都市交流委員会との連携を図り、支援します。 ・姉妹都市交流の有効活用を通じて、市民に国際交流の場を提供し、青少年の国際理解を推進します。 								
平成27年度実績	セーレム市訪問中学生交流団の派遣、姉妹都市提携30周年記念セーレム市訪問団の受入れ、オッフエンバッハ市青少年交流団の受入れ、市立川越高校のノースセーレム高校訪問、日独ビジネス研修生相互派遣を実施しました。								
指標及び説明	【指標】 姉妹都市(海外)間の交流数				【説明】 海外姉妹都市との年間交流回数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	件	3	5	3	8	10	8	9	14
評価の理由	周年行事があり、通常より交流事業が多い年となりました。また、7年ぶりにオッフエンバッハ市青少年交流団を受入れるなど、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	海外姉妹都市との交流については、時期や規模・費用の面から、目標値の達成は厳しい状況にはありますが、実施に向けてさまざまな交流方法を研究・検討してまいります。								

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実							担当課	担当課評価
細 施 策	②新しい地域、都市との交流創出							文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	身近なアジアの地域とは、政治・経済・歴史・文化などさまざまな分野で相互理解し、発展するために、より質の高い交流・協力関係を構築していきます。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流委員会において、川越市における今後の方向性について研究しています。 ・川越市日中友好協会の主催する中国語講座を連携して実施しました。 ・川越市外国籍市民会議の委員がアジア出身者で8割の構成となっており、交流協力関係を築いています。 ・国際交流センターの受付業務をアジアからの留学生にも携わってもらいました。 ・タイ王国の水かけまつりやアジアフェスなどアジアとの交流を支援しました。 								
成果実績	項目名(単位)		H25		H26		H27		
	川越市姉妹都市交流委員会(回)		2		2		2		
評価の理由	姉妹都市交流委員会において、アジア地域との新たな交流について調査・研究を進めており、また、アジアに関連した講座の共催やさまざまな交流を行っており、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	アジア地域との交流については、姉妹都市という関係にとらわれない新たな交流の方法を探り、市民に更なる国際交流や異文化理解の場を提供していくよう努めてまいります。また、他市の状況等も調査し、今後、取り組むべきアジア地域との交流に向けて、調査・研究していきたいと考えております。								

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(3) 姉妹都市交流の更なる充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化	国際文化交流課	B	B	B
②新しい地域、都市との交流創出	国際文化交流課	B			
学識経験者等 意見	特になし				